

## 「術後疼痛管理における自己調節鎮痛法の使用状況と術後悪心嘔吐の発生状況

### に関する後方視的研究」実施のお知らせ

このたび、当院で手術を行った患者さんの電子カルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

#### 研究の概要について

##### 1. 研究の対象となる方

2024年09月01日から2024年11月30日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、全身麻酔で手術を受けていただいた患者さんを対象としております。

##### 2. 研究の目的

手術後の痛みはほぼ全ての患者さんが経験します。その痛みが長引くことは手術後の早期回復や手術後の合併症発生率増加や入院日数延長の原因となることが知られています。また手術後の悪心（または吐気と言います）・嘔吐は一般的には約30%、ハイリスク患者さんでは80%に発生し、周術期の患者さんの満足度を低下させると報告されています。当院では2023年11月より術後疼痛管理チームが活動を開始し、手術後の痛みや悪心・嘔吐に対応させていただいておりますが、それでも手術後の痛みが長引いている患者さんや悪心・嘔吐を経験する患者さんがいらっしゃいます。そこでその要因や原因の調査と分析を実施し、今後の対応を検討していきます。

##### 3. 研究期間

病院長の許可後（一定の期間を開けてから）～2027年03月31日

##### 4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

#### 研究に用いる試料・情報について

##### 1. 試料・情報の内容

利用させていただくのは年齢、性別、身長、体重、血算・生化など血液検査の結果、手術時間、使用した薬剤、使用量、使用回数、術中・術後疼痛に関する痛みの評価、術後の疼痛・吐き気、患者さんの状態に関する看護記録、術後食事摂取量など電子カルテより確認できる情報になります。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である鍵山 智樹が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

##### 2. 試料・情報の取得方法

当院で手術をお受けいただいた患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

##### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者

埼玉医科大学国際医療センター 研究実施者	薬剤部/係長	鍵山 智樹
埼玉医科大学国際医療センター	薬剤部/係長	鍵山 智樹
埼玉医科大学国際医療センター	薬剤部	田中 寿々香
埼玉医科大学国際医療センター	薬剤部	佐々木 彩
埼玉医科大学国際医療センター	薬剤部/外来研究員	斎藤 夏奈
埼玉医科大学国際医療センター	薬剤部/課長	永野 浩之
埼玉医科大学国際医療センター	薬剤部/部長	牧野 好倫
埼玉医科大学国際医療センター	麻酔科/教授	北村 晶

#### 4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

#### 5. 試料・情報の提供について

今回は城西大学と共同研究を行いますが、すべて当院施設内で研究は行われます。城西大学が取り扱う情報はすべて匿名化され、かつ加工された情報になります。

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

#### ○研究課題名：

「術後疼痛管理における自己調節鎮痛法の使用状況と術後悪心嘔吐の発生状況に関する後方視的研究」

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部/係長 鍵山 智樹

#### 連絡先

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

埼玉医科大学国際医療センター薬剤部

電話：042-984-4161

eメール：kagiyama@saitama-med.ac.jp